

市町村名	南大東村
------	------

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	健康診査用機材搬送事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成33年度	離島における定住条件の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9

事業内容
 特定健診等集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃・荷役料、検査技師等スタッフの来島渡航費の負担軽減を図り、住民健診が安定的に実施できる環境を整える事により定住促進を図る。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	1,267	1,094	1,787		
	(b) 予算現額	822	1,172	423		
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 445	78	▲ 1,364		
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	822	1,172	423		
	B. 執行済額	822	1,172	423		
	うち交付金充当額	657	937	338		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%	100%		
予算の状況の説明	当初、予定していた胸部レントゲン車の移送は、島内の診療所での実施の許可がもらえたので予算減額を行った。支出は、検診スタッフの来島渡航費用委託料 合計423,400円(大腸がん検診58,800円、結核・肺がん検診176,400円、子宮がん検診87,200円、乳腺超音波検査101,000円)である。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		1. 集団健診の機材の海上輸送運賃の補助	目標 (補助の実施)	(補助の実施)	(補助の実施)	(補助の実施)
	実績	補助の実施	補助の実施	未実施		
	2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の補助	目標 ()	()	(補助の実施)	()	
	実績			補助の実施		
達成状況説明	今年度の、レントゲン車の海上移送は、村内診療所での使用許可達成により、海上移送は取りやめになった。沖縄県立南部医療センター(親病院)及び附属南大東診療所の協力により島内の診療所での胸部レントゲン撮影となり、レントゲン車移送の軽減には繋がったが、集団検診と別日程(診療所の休診日)での検診となったため受診率前年比35.3%減となった。検診スタッフの渡航により各種のがん検診を実施することができ、各個人の健康状態を確認できた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
			集団検診受診者	目標 (325人)	(570人(55.1%))	(570人(55.1%))	(360人(41.0%))	()
				実績		502人(48.5%)	456人(44.1%)	397人(45.2%)
			【参考指標】胸部レントゲン撮影者数	目標 ()	(570人(55.1%))	(570人(55.1%))	(360人(41.0%))	()
実績		376人		416人	269人(30.6%)			

進捗状況説明
 平成25年度の改善余地の検証により、胸部レントゲン撮影を島内の診療所で受診できたため、移送費用の軽減に繋がった。しかし、成果目標に対する受診実績は低下。又、前年比の実績も減となった。今後、受診率向上策として、集団検診と同日に行えるように胸部レントゲン車移送を検討したい。

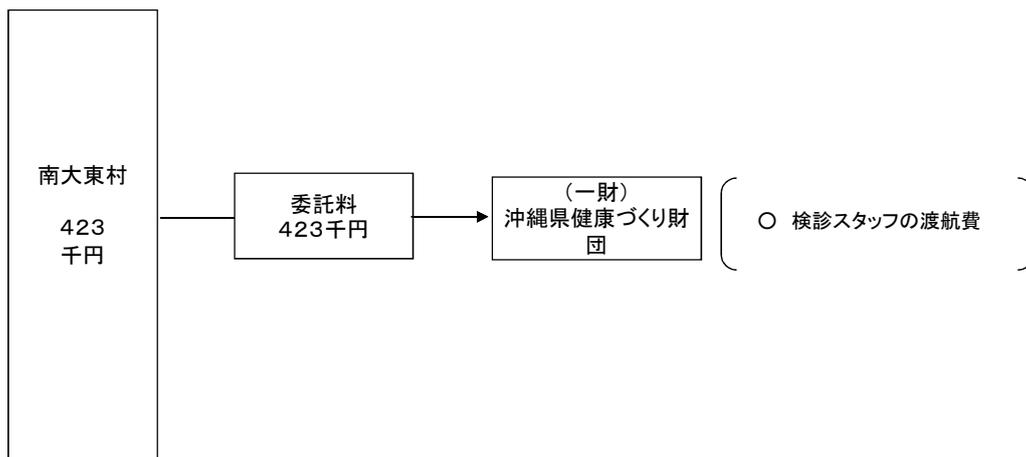
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>経費節減のため、今年度は、胸部レントゲン車移送予定から診療所での胸部レントゲン撮影の実現に変更となったが、受診率低下となった。集団検診と同日に実施することが検診率アップになると考えられるが実施できる時期が「診療所の休診日で行うこと」「急患が発生した場合、検診は、一時ストップ」となるため、住民の方の理解が得にくい状態である。</p>	<p>今後、受診率向上策として、集団検診と同日に行えるように胸部レントゲン車移送の検討したい。昨年と比較して、移送費経費節減には繋がったが、診療所での使用条件では、受診向上は見込めないと判断した。</p>

今後の取り組み方針

今年度、レントゲン車の海上移送は、村内にある県立の診療所内のレントゲン機器が使用可能となったため、海上移送は取りやめた。今後は、受診状況をみながら、レントゲン車の海上移送も検討し、実施医療機関に交渉していく。結核や肺がん、各種がん検診の病気の早期発見、早期治療に繋がるため、受診率勧奨を強化し、検診率の向上に努力する。又、検診結果、要精査の方々の把握により、早期に精査の受診勧奨を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
423	423	338	85	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託先は沖縄県で唯一離島住民の健康診査業務を担っている一般財団法人であるため妥当である。</p> <p>○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。</p> <p>○費用・用途が事業目的に即し、検査時に書類等で確認しており、真に必要なものに限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

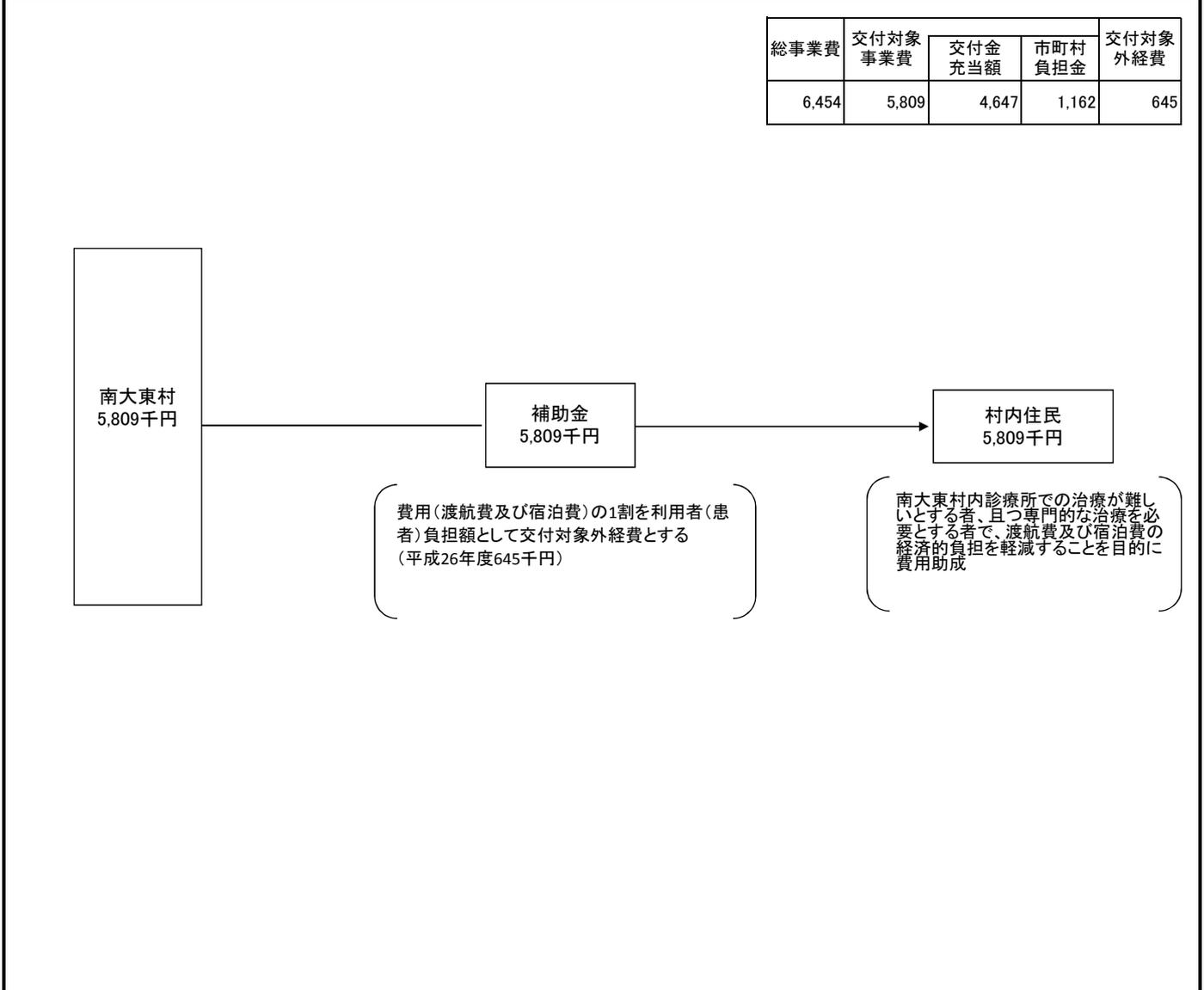
市町村名	南大東村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	専門病院受診渡航費助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成25年度～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備		
事業内容	沖縄本島での専門的な治療を要する住民の経済的負担を軽減するため、渡航費を助成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,685	4,491			
		(b) 予算現額	2,913	5,809			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,772	1,318			
		(d) 繰越額		0			
	A. 計 (b+d)		2,913	5,809			
	B. 執行済額		2,913	5,809			
	うち交付金充当額		2,331	4,647			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100%			
予算の状況の説明		当初予算では160人を想定し予算算出したが、実績では292人と大きく上回った。 【助成金利用者内訳】 患者240人/4,827,150円、付添人52人/982,193円 : 合計292人/5,809,344円 (内、急患空輸患者6人・74,520円、付添人4人・47,700円)					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	専門病院受診渡航費助成の実施	目標	(204人)	(助成の実施)	()	()	
		実績	163人	助成の実施			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	平成25年6月1日から渡航費助成事業を開始した。当初より村広報誌、住民説明会等で村民に周知した。開始初年度は制度の申請方法不明瞭、及び制度の未認知者が多く目標を下回る実績となった。平成26年度からは、村内診療所にて紹介状発行患者に対して、助成制度窓口宛て「紹介状発行証明書」をお渡しし、制度の周知をした。あわせて渡航前に窓口へ「紹介状発行証明書」の提出を誘導することで、必要書類の案内、及び手続方法をチラシ及び口頭案内を行う。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	専門病院受信渡航費助成の実施 専門病院受診者 115人、付添人 55人	目標	()	(204人)	(115人)	(55人)	()
		実績		163人	(240人)	(52人)	
	【参考指標】南大東診療所の島外医療機関の紹介状発行見込み件数		目標	()	(-)	(-)	()
			実績		264人	270人	
進捗状況説明	開始初年度は制度の申請方法不明瞭、及び制度の未認知者が多く紹介状発行対比50%であった。制度対象者へ診療所または申請窓口において、直接案内できたことから前年度実績163人を大幅に上回る実績となった。平成26年度からは、村内診療所にて紹介状発行患者に対して、助成制度窓口宛て「紹介状発行証明書」をお渡しし、制度の周知を行う。あわせて渡航前に申請窓口へ「紹介状発行証明書」の提出を誘導することで、必要書類の案内、及び手続方法をチラシ及び口頭案内を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	申請書に添付書類として、①村内診療所が紹介状発行した事実(紹介状発行証明書)または、急患空輸患者(急患空輸要請書)、②沖縄本島専門医療機関主治医による診断書、③専門医療機関の領収書、④渡航費領収書、⑤搭乗券または乗船券(証明書含む)、⑥宿泊施設の領収書(1泊6千円以内、受診日及び前日の最大2日間)を必要とし、申請者の書類準備期間に時間を要する。 平成26年度は申請者の約5割が書類不備により再提出となっている。	当該制度は南大東村内での治療が難しいとされる患者へ対する救済制度の為、平成26年度より左記①『村内診療所が紹介状を発行した事実』を確認するため、「紹介状発行証明書」を採用し、患者自身の自己判断による渡航費用の助成とならないよう制度の適正運用に努めた。 また、左記②『沖縄本島専門医療機関主治医による診断書』を必要とする際、従来は患者自身の口頭説明による診断書発行依頼であったため、記載内容不備となるケースが発生。平成26年度7月より(1)診断書記入例(2)制度案内チラシ(3)(1)記入例と同様式の診断書採用し、患者及び主治医の診断書にける労力削減に努めた。 平成27年度においても患者並びに各書類発行機関での、円滑な書類作成・発行となるよう努める。 課題としては、助成費用の1割は自己負担とするため渡航費用負担救済を完全に実施できているわけではない。

今後の取り組み方針

今後も村内診療所において、専門治療及び加療が必要な患者の渡航費助成を行うことで、経済的な負担軽減により、診療治療が中断することなく、専門医療機関での継続治療を促し、健康増進に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的に沿った申請受付・審査・決定・決定通知・振込は、適正に処理されている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 南大東村

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	花いっぱいクリーン環境整備事業	平成25年度～33年度	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
				沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成25年度～33年度		

事業内容 観光地としての景観整備を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の植栽・美化清掃を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	23,577		9,224		
	(b) 予算現額	20,740		2,550		
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,837		▲ 6,674		
	(d) 繰越額		9,388			
	A. 計 (b+d)	20,740	9,388	2,550		
	B. 執行済額	11,352	9,388	2,550		
	うち交付金充当額	9,081	7,510	2,040		
	次年度繰越額	9,388	0	0		
	執行率 (%) (B/A)	54.7%	100.0%	100.0%		
	予算の状況の説明	工事による植栽を行わず、賃金で雇用している方で植栽を行い経費削減となり、当初予算より6,674千円減額となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 5箇所、)	目標 (美化清掃)	(5箇所)	()	()
		実績	美化清掃	9カ所	
	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(アクセス道路 1,500m)	目標	(1500m)	()	()
		実績		2100m	
達成状況説明	観光地9箇所、アクセス道路1500mの植栽・美化清掃を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
			観光地へのアクセス道路の植栽による景観の向上	目標 (-)	(美化清掃)	(景観の向上)
	観光地へのアクセス道路の植栽による景観の向上	実績	美化清掃	景観の向上		
		目標 (-)	()	(利用度の向上)	()	()
	観光施設の清掃による利用度の向上	実績		利用度の向上		
		目標 ()	()	()	()	()
進捗状況説明	清掃を行って景観が向上した。施設の利用も少しずつではあるが利用頻度が増えている。					

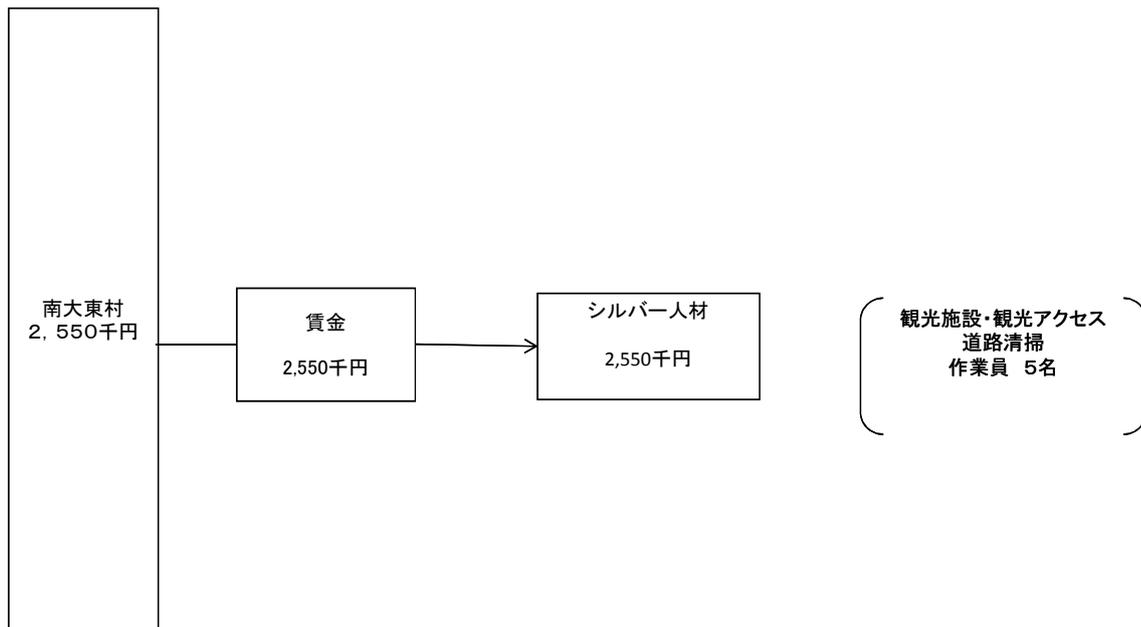
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	各観光地、施設、アクセス道路の植栽・美化清掃を行った。植栽を行っても散水車がないため干ばつが起きた際の対処が出来ていなかった。観光客の目を楽しませる箇所を実施できているか検討が必要である。	干ばつの際の観光施設やアクセス道路の花木、植樹を行った際には散水車を活用する。観光客の視点で見苦しい箇所がないか、確認する。

今後の取り組み方針

今後も観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。散水車を活用し干ばつ時の散水、台風後の道路清掃等にも役立てたい。また、植栽箇所については、観光客の目を楽しませられる箇所を実施できているか検討し、平成27年度以降の植栽箇所に反映する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,550	2,550	2,040	510	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模は、6,674千円減額しており、見直しが必要である。 ○委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	大池地区水辺環境保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 Ⅲ-9		
事業内容	本村最大規模のカルスト湖である大池は、水草が繁茂し景観を損なうだけでなく、生態系への影響が懸念されるなど、観光分野や環境保全の点から課題となっている。その課題を解決するために、水草除去、水路浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	74,098	-	50,593	27,436	
		(b)予算現額	75,105	-	59,052	66,960	
		(c)増減額(b-a)	1,007	-	8,459	39,524	
		(d)繰越額	-	37,526	0	-	
		A.計(b+d)	75,105	37,526	59,052	66,960	
	B.執行済額		37,579	37,526	59,052	66,960	
	うち交付金充当額		30,054	30,020	47,241	52,104	
	次年度繰越額		37,526	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		50.0%	100.0%	100.0%	100%	
予算の状況の説明		本事業は、平成24年度から平成28年度までの5年計画の水辺の環境整備及び観光資源の開発を目的とした事業であるが早期完了に向け、工事費及び委託費を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	大池地区水辺環境の保全・再生 ①水草の除去	目標	(水草の除去)	(水草の除去)	(水草の除去)	()	
		実績	水草の除去	水草の除去	水草の除去		
	大池地区水辺環境の保全・再生 ②水路汚泥浚渫	目標	(水路汚泥の浚渫)	(水路汚泥の浚渫)	(水路汚泥の浚渫)	()	
実績		水路汚泥の浚渫	水路汚泥の浚渫	水路汚泥の浚渫			
達成状況説明	計画どおりの水路の浚渫・水草の除去が達成できた。また、大池に繁茂している水草について調査し水草除去工事費の積算を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	①水草の除去によるカヌーの安全航路の確保 ②水路汚泥浚渫による水流の再生 ③水路の一部供用開始	目標	()	(①水草の除去 ②水路汚泥の浚渫)	(①水草の除去 ②水路汚泥の浚渫)	(①安全確保 ②水流再生 ③供用開始)	()
		実績		①水草の除去 ②水路汚泥の浚渫	①水草の除去 ②水路汚泥の浚渫	①安全確保 ②水流再生 ③供用開始	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	計画どおりに水路の水草の除去・水路の浚渫・観光資源の開発になりうる環境作りが達成できた。また、大池に繁茂している水草について調査し水草除去工事費の積算を実施した。また、水路の一部を供用開始した。						

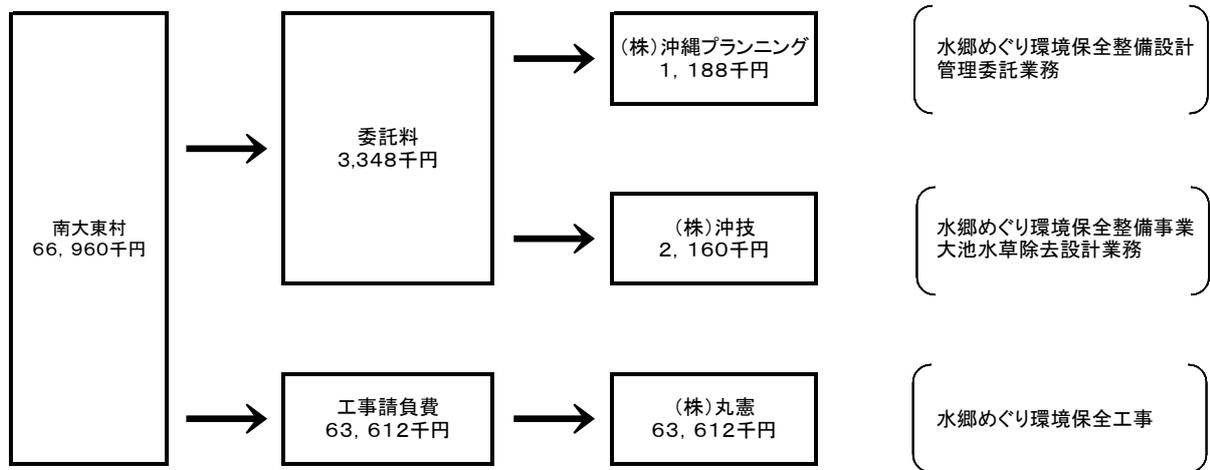
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本事業は、広域にわたっての施工が必要なため複数年にわたっての水辺環境の保全・水質の改善・観光資源の開発を目的とした水辺環境の保全事業を執行している。本工事は、水上作業が主であり作業機器が水に浮く特殊機器を使用しているためコストが高く、また、本作業機器は大型機器のため本村への海上輸送費も高額である。 大池周辺でのカヌー等による水郷めぐり観光の観光資源開発を実施する必要がある。	これまで、大池へのカヌー等による水郷めぐり観光の観光資源開発と水質保全を目的として点在する池と池を結ぶ水路の浚渫を実施してきたところである。 他の工法による施工ができないか、検討する必要がある。

今後の取り組み方針

大池は、水草が繁茂し景観や生態系への影響やカヌー等の船の乗り入れも困難であるため、水草の撤去を実施し、水辺環境の整備や景観資源の開発を行う。今後コスト軽減のため他の工法も検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
66,960	66,960	52,104	14,856	0



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札方式を採用しており選定方法は妥当であったと考える。 予算規模は、事業内容に見合った適正な規模であると考えられる。 費目・用途については、検査時に書類等で確認しており、事業目的に即していると考えられる。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

資金の流れ、費目・用途の点検評価

市町村名		南大東村					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	南大東村観光振興計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	産業課	事業実施（予定）年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 Ⅲ-9		
事業内容	南大東村観光振興発展の為、専門家及び関係機関の意見を反映した中期・長期的な観光推進計画書を作成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,181				
		(b) 予算現額	867				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 314				
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	867				
	B. 執行済額		867				
	うち交付金充当額		693				
	次年度繰越額						
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算額と予算現額の差額は旅費を節約したことによる減で▲314千円となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	①講演会、意見交換会	目標	（講演会・意見交換会開催）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	講演会・意見交換会開催				
	②観光振興計画書の作成	目標	（観光推進計画書作成）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	観光推進計画書作成				
達成状況説明	講演会、意見交換会を開催し、各関係機関、専門家の意見を取り入れながら観光推進計画書を作成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	①講演会、意見交換会による地域資源等の再発掘	目標	（ ）	（地域資源の再発掘）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		地域資源の再発掘			
	②観光振興計画書の作成により今後の振興に繋げる	目標	（ ）	（観光推進計画書作成）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		観光推進計画書作成			
	進捗状況説明	各関係機関、専門家との意見交換会の結果、地域資源等の再発掘ができた。南大東島の特性を生かした戦力としてエコツーリズム、文化を生かした観光。体験としてダイビング、釣り体験などの改善、新しいプログラムの作成。大型クルーズ船の誘致への取り組み。					

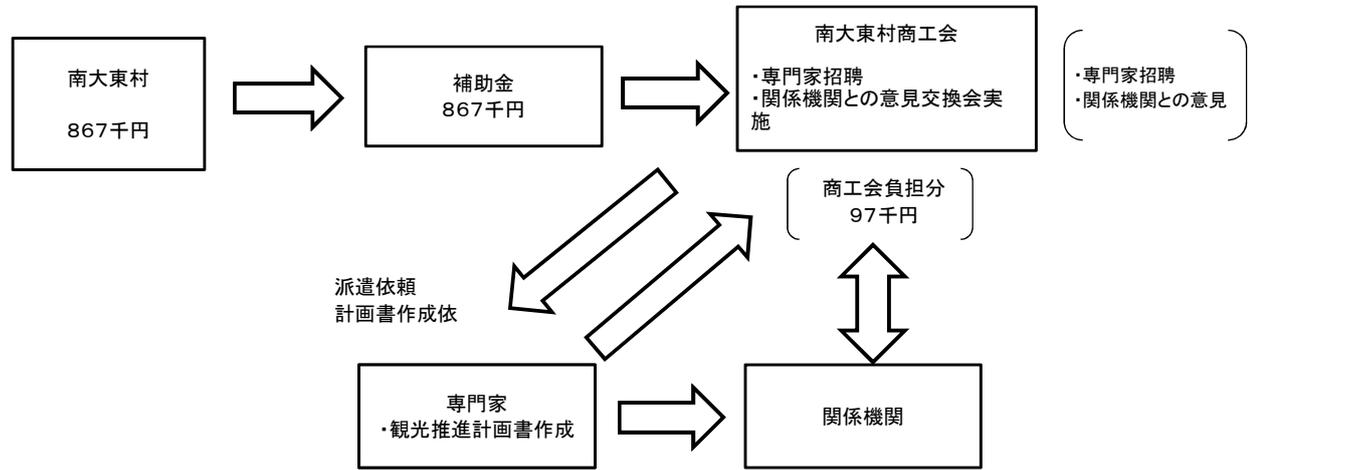
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	南大東村の今後の課題として①航空座席確保が困難であること。②航空運賃が高いため、航空運賃の低減。③宿泊施設の整備。④魅力のある観光プログラム開発及び人材育成。⑤情報発信の強化。⑥村内観光推進体制の強化。	①現在1日2便(午前50席、午後39席)であるが午後の便も50席になるよう動いている。今後は観光客の増加次第では便数、もしくは席数の多い機体に変更も検討していく。②利用客数が増加することにより航空運賃の値下げも旅行会社とも検討していく。③既存の宿泊施設の整備。食事メニューの改善。例、島の食材を積極的に使ったメニューや毎日違うメニューなど④観光プログラムを改善し集客に繋げる。観光ガイドの人材育成にも努める。⑤南大東村、村商工会でHPやSNSを活用し観光情報を発信しているが内容の強化を図る。⑥村と観光協会及び村内の主要関係機関が連携し、受入体制の強化策を検討・実施していく。

今後の取り組み方針

初めに④、⑤、⑥観光プログラムの改善と観光ガイドの人材を育成。地域連携による受け入れ態勢の強化をして情報発信することによって観光集客を行う。その後①、②、③を進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
964	867	693	174	97



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付先は南大東村商工会のため事業目的に即して選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模である
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。

市町村名 南大東村

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-④	観光誘致強化人材育成プロモーション事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
				Ⅲ-9

事業内容 専門家による観光産業の人材育成及びプロモーション活動を実施し、観光産業振興発展に寄与する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	4,059				
	(b) 予算現額	3,874				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 185				
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	3,874				
	B. 執行済額	3,874				
	うち交付金充当額	3,276				
	次年度繰越額					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	当初予算額と予算現額の差額は旅費を節約したことによる減で▲184千円となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
専門員の配置	目標	(配置)	()	()	()
	実績	配置			
観光産業への指導、助言	目標	(指導、助言)	()	()	()
	実績	指導、助言			
観光客誘致活動(ホームページ作成)	目標	(誘致活動・HP作成)	()	()	()
	実績	誘致活動・HP作成			
達成状況説明	専門員を配置し、観光産業への指導、助言をおこない、ホームページを作成した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
専門員の指導により資質の向上	目標	()	(資質向上)	()	()	()
	実績		資質向上			
観光産業への指導、助言による接客・接遇等の改善	目標	()	(接客・接遇等の改善)	()	()	()
	実績		接客・接遇等の改善			
ホームページ作成により村の魅力を発信し誘客を図る	目標	()	(魅力発信による誘客)	()	()	()
	実績		魅力発信による誘客			
進捗状況説明	観光人材育成することにより(一社)南大東村観光協会の組織体制強化、観光及び関連産業のビジネススキルの向上、業務意識の向上につながった。作成したホームページで情報を発信し誘客を図った。					

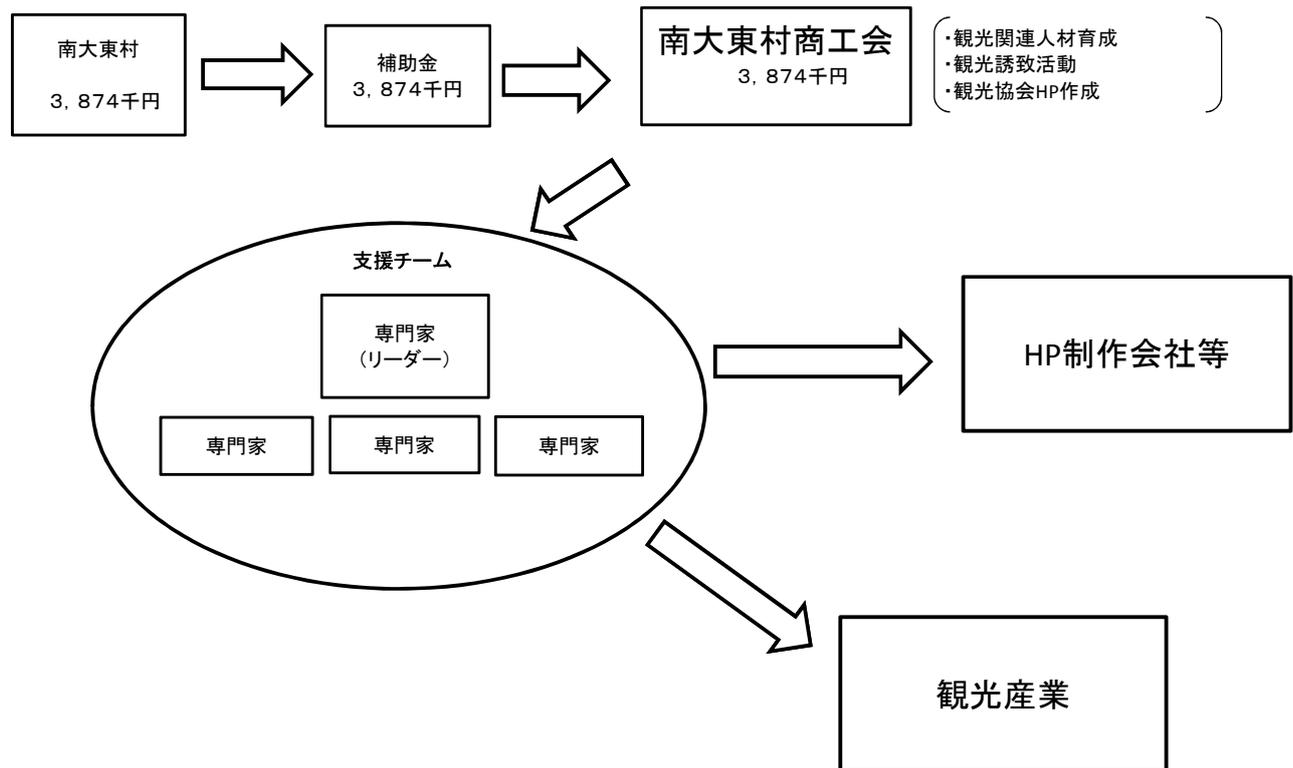
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業が終わったあとも継続的に組織体制、観光及び関連産業のビジネススキルの向上、業務意識の向上を図るよう指導していく必要がある。	本事業を活かして観光誘致や観光推進を行っていくが商工会、観光協会だけでは負担できない事業等がでてきた場合、南大東村や各関係機関で全面的にバックアップしていく必要がある。

今後の取り組み方針

南大東村観光振興計画策定事業で作成した観光推進計画書を基に(一社)南大東村観光協会、行政で連携を組み今後も南大東の特性を生かした観光、体験等のプログラムを作り観光推進に努める。本事業で向上したビジネススキルや組織内に浸透させ、今後も人材育成に努めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,304	3,874	3,099	775	430



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付先は事業目的に即して南大東村商工会を選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模である
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。

市町村名	南大東村
------	------

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑤	星野洞楽々歩道整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成25年度～平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
				Ⅲ-9

事業内容
 観光施設として人気の高い星野洞は、入洞帰路が急勾配なため、入洞者に不便を来している。高齢者等利用者が楽に入洞し神秘的な空間の広がる星野洞を堪能することができる移動式歩道及び音声ガイド・照明器具等を整備する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	4,095	84,455		
		(b) 予算現額	4,095	84,977		
		(c) 増減額 (b-a)	0	522		
		(d) 繰越額				
		A. 計 (b+d)	4,095	84,977		
		B. 執行済額	4,095	84,977		
		うち交付金充当額	3,276	67,981		
		次年度繰越額				
		執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%		
		予算の状況の説明	オートレーンの設置77,679千円。児童生徒用タブレット10台・LEDライト15台を設置。			

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
移動式歩道整備	目標	(基本設計・実施設計)	(歩道整備工事 実施)	()	()
	実績	基本設計・実施設計	歩道整備工事 実施		
音声ガイド・照明器具整備	目標	()	(整備)	()	()
	実績		整備		
パンフレット作成	目標	()	(ガイドシステム・パンフレット)作成	()	()
	実績		ガイドシステム・パンフレット作成		
達成状況説明	25年度に実施した基本・実施設計を元に工事を実施し星野洞にオートレーン、照明を設置した。タブレット用の音声ガイドシステム(アプリ)の作成とタブレットの購入・ホームページの作成。パンフレットの作成を行いPRに活用する。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
			年間利用者の増加	()	(基本設計・実施設計)	(年間利用者の増加)
	実績	/	基本設計・実施設計	年間利用者の増加		/
利用者の満足度の向上	目標	()	()	(利用者の満足度の向上)	()	()
	実績	/		利用者の満足度の向上		/
施設のPR、観光客誘致	目標	()	()	(施設のPR、観光客誘致)	()	()
	実績	/		施設のPR、観光客誘致		/

進捗状況説明
 25年度に実施した基本・実施設計を元に工事を実施し星野洞に移動式歩道をを設置し、照明を整備した。タブレット用のガイドシステム(アプリ)の作成とタブレット・照明器具の購入。ホームページの作成。パンフレットの作成を行いPRに活用する。

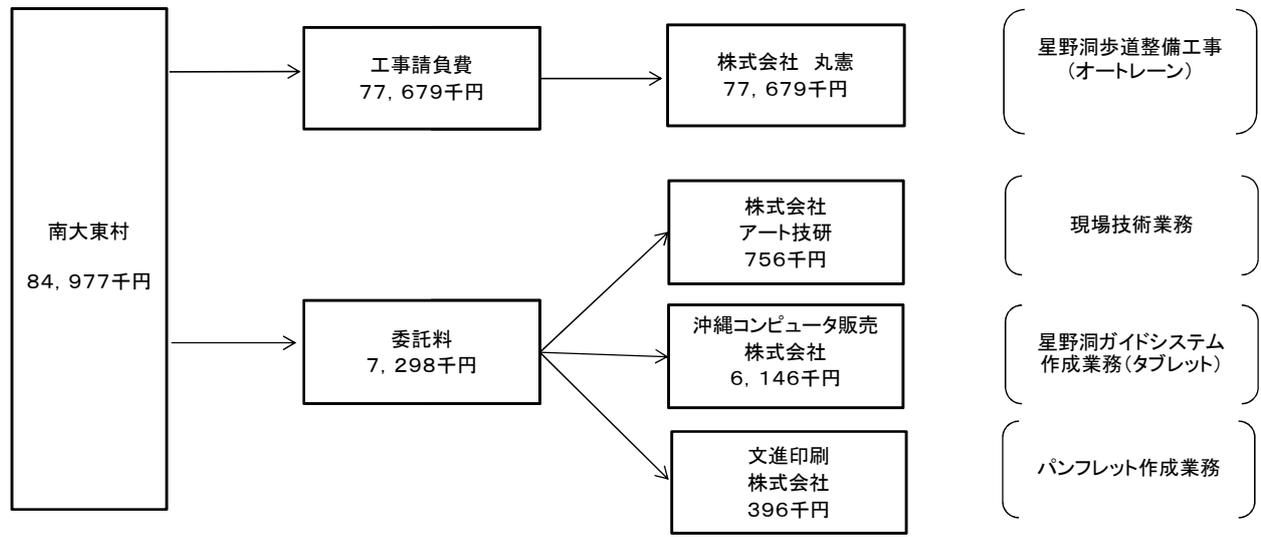
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	工事の執行する際に環境や鍾乳洞内の鍾乳石等に変化、損害が無いよう注意して行う必要がある。傾斜があるため年輩の方がオートレーンを使用する際手すりが固定式なので転んでしまい怪我をする可能性がある。	工事を執行する際環境や鍾乳洞内の鍾乳石等に変化、損害が無いよう注意して行うよう請負業者に注意喚起した。移動式手すりの導入も含め、危険性の除去を検討する。

今後の取り組み方針

実際に使用して危険性がある場合は移動手すりに変更する必要がある。ホームページ・パンフレットの作成を行ったので南大東村・観光協会の公式HPとのリンク、各宿泊施設・観光施設にパンフレットを設置し積極的に活用していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
84,977	84,977	67,981	16,996	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名委員会にて企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模である ○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 南大東村

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名 2-⑥ シュガートレイン復活夢実現事業
 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(12)-ア
 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開

担当部課名 産業課
 事業実施(予定)年度 平成25年度～平成29年度
 沖縄振興基本方針該当箇所 III-9

事業内容 島の歴史と共に、のどかで活気あふれる時代を走った“さとうきび列車”は、近代産業遺産として島の象徴であり、復活することが島民の夢である。その夢を実現するとともに、全国の鉄道ファン(100万人)等観光客を誘客するため、シュガートレインを整備する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	15,750	19,980			
	(b) 予算現額	14,700	19,764			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,050	▲ 216			
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	14,700	19,764			
	B. 執行済額	14,700	19,764			
	うち交付金充当額	11,760	15,811			
	次年度繰越額					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100%			
	予算の状況の説明	当初予算額と予算現額の差額は執行入札残で▲216千円となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
基本設計委託	目標	(基本調査・計画)	(委託の実施)	()	()
	実績	基本調査・計画	委託の実施		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	本業務は、昨年度の検討業務の結果を踏まえ、シュガートレイン復活実現に向けての基本計画の策定を目的に実施され、業務では鉄道の基本設計、関連施設の基本設計、機関車の基本設計、管理運営方針などの調査を実施し基本計画・基本設計書を策定した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
		目標	()	(基本調査・計画)	(基本計画・基本設計)	()
	実績		基本調査・計画	基本計画・基本設計		
	目標	()	()	()	()	()
進捗状況説明	シュガートレイン復活実現に向けての基本計画・基本設計及び管理運営方針等を策定するに当たり村議会、村役場、各字区長、各団体の代表者を検討委員に選定し検討委員会を開催し実施に向けての基本計画・基本設計が策定された。					

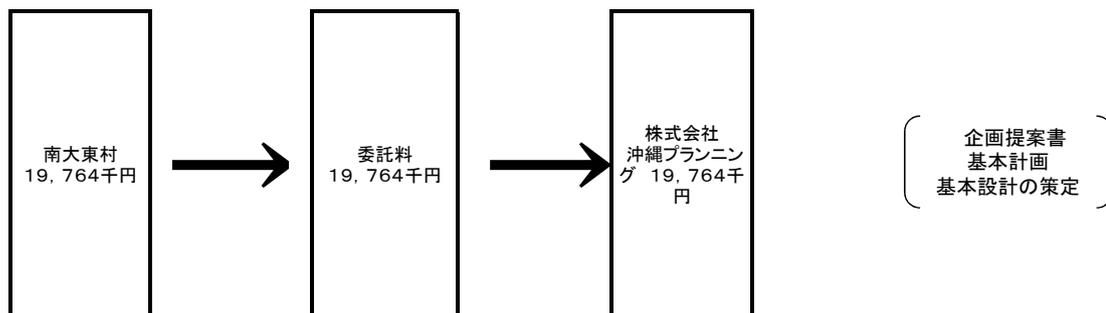
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	シュガートレインを廃止前と同じ軽便鉄道として復活復元に向けて鉄道事業法及び軌道法による検討を行ったが非常にハードルが高く断念することとなった。そのようなことから、遊具扱いとしての検討に移り全国の鉄道廃線跡を利用した事例等を調査した。全国には同敷地内での運営している事例はあるが本村のような村道等の道路を横断しての運営事例は少なく、秋田県小坂町の小坂鉄道レールパークと北海道三笠市の三笠鉄道村を参考に計画した。これからの課題として遊具としての運用方法、交差する村道や隣接する畑への進入路の取り扱い等の安全管理、関係機関との調整や収支についてもあらゆる予測を立てた検討が必要である。	実施に向けての基本計画・基本設計の策定により基本的な方針が示されたので今後は、村民へ説明し理解を得たい。基本計画において確認された課題について、対応案を基本設計で策定しており、今後関係機関と調整する必要がある。

今後の取り組み方針

本計画は、本村観光振興への大きな起爆剤として、また、その歴史を知らない世代や後世への受け継ぐ遺産として非常に重要な施設である。今後は、将来的に村の財政への大きな影響を与えないようしっかりとした事業計画の基で整備する必要がある。着工に向け、関係機関との調整を密におこない、各課題について解決するよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
19,764	19,764	15,811	3,953	0



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式で契約しており妥当であると考えられる。 ○予算規模は事業内容に見合った規模である。 ○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-① 生きがいづくり安心安全強化対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度 平成26年度	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10

事業内容
介護・福祉サービスの拠点である高齢者福祉センターのバリアフリー化と緊急災害時の避難誘導路を整備して高齢者、要介護者の安心安全と福祉サービスの充実を確保し、生きがいある社会福祉づくりをめざす。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	6,534				
	(b) 予算現額	519				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,015				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	519				
	B. 執行済額	519				
	うち交付金充当額	415				
	次年度繰越額					
執行率 (%) (B/A)	100%					
予算の状況の説明	当初予算額は、工事費を含んだ額であったが、設計業務受注者とユーザー(南大東村社協)との打ち合わせにおいて、設計内容・条件等が変わり、設計業務期間が延長となった。結果、年度内の工事完了が見込めず、工事執行を取りやめることとなり、12月定例議会(5号補正)にて工事費相当額の減額補正を行った。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
高齢者福祉センター内のバリアフリー工事	目標	(工事の実施)	()	()	()
	実績	未実施			
避難通路の設置工事	目標	(工事の実施)	()	()	()
	実績	未実施			
達成状況説明	ユーザー(南大東村社協)との打ち合わせ・要望により、業務受注時の設計内容等が大きく変わった事から、委託業務は遅れて完了したため、年度内に工事の執行ができなかった。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			26年度	25年度	26年度	(年度)
高齢者福祉センター内のバリアフリーによる安心安全の確保	目標	()	(確保)	()	()	()
	実績		未実施			
避難通路の設置による安心安全の確保	目標	()	(確保)	()	()	()
	実績		未実施			

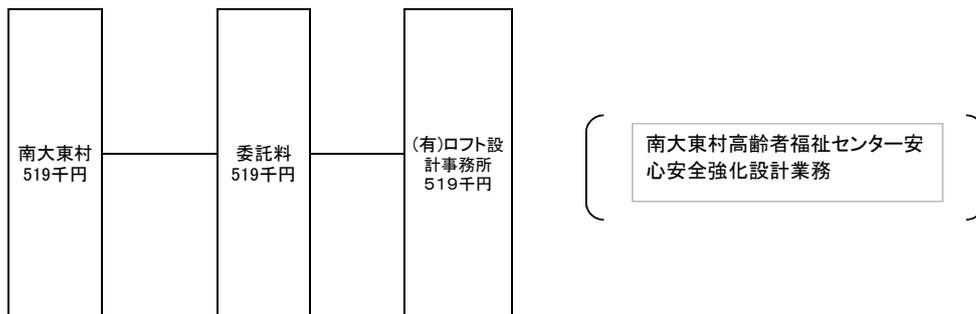
進捗状況説明
ユーザー(南大東村社協)との打ち合わせ・要望により、業務受注時の設計内容等が大きく変わる事から、現場確認をした上で、設計調整を行う。又、委託業務期間が延期となる為、工事を次年度繰越し、予算執行の適正化を図る。

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	ユーザーからの意見、要望を反映させた設計にする必要がある。居室トイレの段差と避難誘導路が確保される設計にする必要がある。事業効果の早期発現のため、早急に工事を発注する必要がある。	バリアフリーや避難通路等、ユーザーからの意見を反映した設計による工事を発注する。

今後の取り組み方針
・設計書に沿った改修工事を行い、安心安全が強化され、更に利便性の高い施設として、活用できるように整備して行きたい。また、整備後の活用方法にむけ、ユーザーの意見を反映した施策を展開する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
519	519	415	104	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札において業者を選定しており、妥当である。 ○当初設計と工事を同年度で計画したが、設計の遅れによる工事執行を中止する為、工事費を減額した。又、設計費については、事業費の4%とであり正当な規模である。 ○費目、用途については額の確定時において検査、確認しており適正であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

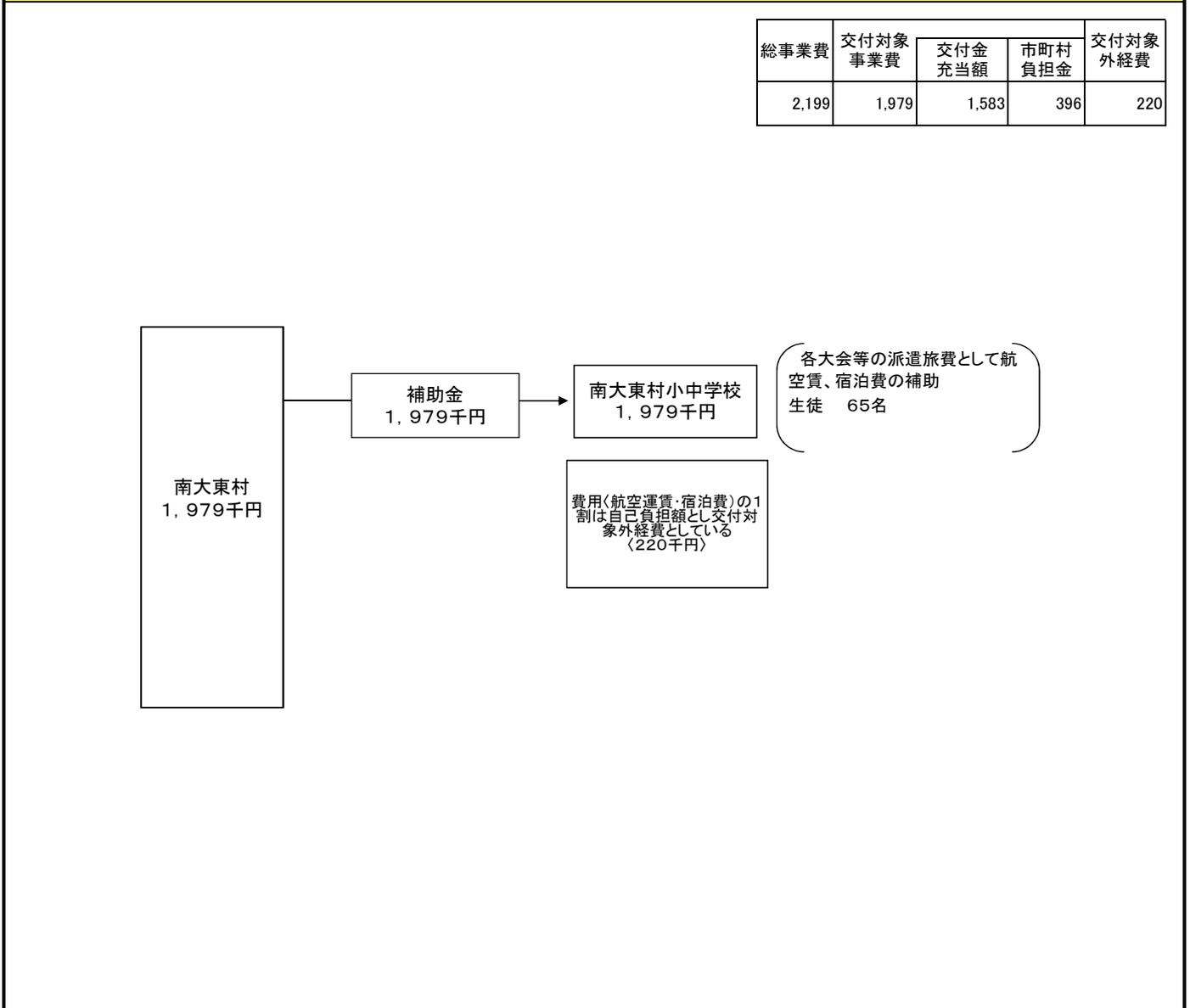
事業番号・事業名	4-①	人材育成派遣事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア			
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた環境整備		
事業内容	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を助成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		3,832	2,902			
			2,072	1,979			
			▲1,760	▲923			
			-	-			
			2,072	1,979			
	B.執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		2,072	1,979			
			1,658	1,583			
			0	0			
			100.0%	100%			
予算の状況の説明	行事等で練習ができなく、参加しても十分な力が発揮できない恐れがあった男女駅伝大会への派遣をやめたことによりマイナス923千円になった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	吹奏楽コンクール10名童話・お話大会2名 アンサンブル・リコーダー5名英語関係派遣 6名地区夏季・県中体連46、地区陸上・駅伝大会23名	目標	(106人)	(92人)	()	()	
		実績	85人	65人			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	①英語スリコンテスト 1人、②第56回那覇地区中学校夏期総合体育大会 20人、③第56回男子沖縄県中学校柔道競技大会 4人、④平成25年度第5回スプリングコンテスト 3名、⑤第54回沖縄県吹奏楽部コンクールBパート 14人、⑥第56回那覇地区中学校陸上競技大会 10人、⑦平成26年度那覇地区高円宮英語弁論大会 1人、⑧那覇地区中学校駅伝大会 14人、⑨第37回那覇地区中学校新人バドミントン競技大会 6人、⑩第40回沖縄県吹奏楽部ソロコンテスト 2人、⑪那覇地区中学校新人柔道大会 2人、⑫柔道大会 2人 ⑧那覇地区中学校駅伝大会については練習不足とメンバー不足のため棄権したため、未達成となった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	・各大会等を通して多くの生徒と交流を図り文武両道の精神を養う。	目標	()	(106人)	(精神を培う)	()	()
		実績		85人	精神を培う		
	・各大会において練習の成果を発揮する。	目標	()	()	(成果の発揮)	()	()
		実績			成果の発揮		
進捗状況説明	26年度においては、柔道大会で優勝、バドミントン大会で、県大会出場を果たす。日頃の練習を充分行った結果と大会派遣に参加機会があたえられ、自己記録を更新しようとする意欲と会場内での雰囲気や飲み込まれないような、精神力が鍛えられたことでいい結果に繋がった。又吹奏楽コンテストでの優勝(金賞)受賞、スperlバトリングでの三位入賞についても、個々の能力を発揮する力、継続して練習して心理的にも強化されたことも評価される。日々の練習で培った精神で、島では経験できない大会や会場でも、動揺すること無く力を発揮するほど、精神面の強化ができつつある。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	派遣費の実績の内 90%を補助 10%を個人負担としているが、児童生徒の派遣対象者が重なることから 個人毎の負担金に差がある。部活等でなく、駅伝大会のような選抜メンバーから構成される大会について、メンバーの選定、練習時間等により十分な成果を得られない可能性がある。	必要経費を個人負担から軽減することを考慮し、宿泊費に昼食費を含めるを検討した。練習時間確保のため、選抜されたメンバーが所属する部活動との調整が必要であった。

今後の取り組み方針

派遣中の昼食を宿泊費に含め補助金対象とする。(昼食1食800円から1,000円とする) 選抜メンバーで構成される大会においても十分練習時間を確保できるよう、各所属部と調整する。
 本事業を活用することで児童生徒の派遣の幅が広がり、児童生徒の自信と目標設定ができ、目標とする子どもたちの多様な能力と心身の発達や育成を図ることができた。又 補助金を活用することで、保護者負担の軽減、児童生徒の参加意欲の向上、精神面の鍛錬が期待される。今後も個々の能力を十分に発揮できるように 学校から派遣申請のある児童生徒の派遣費を補助し、人材育成を推進する

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 流 れ、 費 目 ・ 使 途 の 流 れ、 費 目 ・ 使 途	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金先は南大東村立小中学校で児童生徒の島外で開催される各種大会の派遣旅費の補助金であるため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○大会棄権により一部不参加の大会があり、不用額がでたが、おおむね適正な予算規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については航空賃、宿泊費、費用の1割は自己負担し支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	人材育成環境強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26年から平成33年まで	公平な教育機会の享受に向けた環境整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3

事業内容
 村営学習支援塾に講師を配置してパソコンを導入しての細かな学習支援を行い、質の高い確かな学習を習得させて、情報化社会に対応できる人材育成と学ぶ環境を整備する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	4,896				
	(b) 予算現額	5,394				
	(c) 増減額 (b-a)	498				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	5,394				
	B. 執行済額	5,394				
	うち交付金充当額	4,315				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	支援員報酬3,576,507円共済費455,493支給。児童生徒用パソコン8台・教師用2台を設置				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度
		講師の配置	目標 (講師の配置)	()	()	()
	実績	講師1名配置				
パソコン等機器の設置	目標 (パソコン等機器の設置)	()	()	()	()	
	実績	パソコン等機器の設置				
達成状況説明	講師の1名を4月から配置 パソコン先生用2台、児童生徒用8台の設置し使用。学習時間終了後は、漢字検定・英語検定等の学習に活用している。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
		講師の配置による学力向上	目標 ()	(学力向上)	()	()	()
			実績	学力向上			
		パソコン等機器を活用して学ぶ環境で勉強意欲を高める。	目標 ()	(学習向上意欲)	()	()	()
	実績	学習向上意欲					

進捗状況説明
 講師を村単独1名 補助での講師1名の配置により小1～小6を月から金まで 又中学校定期テスト前は、土・日の指導も実施し、より充実した指導体制が整い、質の高い指導計画が計画され実施できている。パソコンを利用しての調べ学習、検定などの学習ができ、基礎学力向上に役立っている。英検 数検 漢検のアプリを活用して検定練習問題の対策をしている。英検に関しては、一度も挑戦していない生徒が、3級をとるなど、合格率が高くなった。

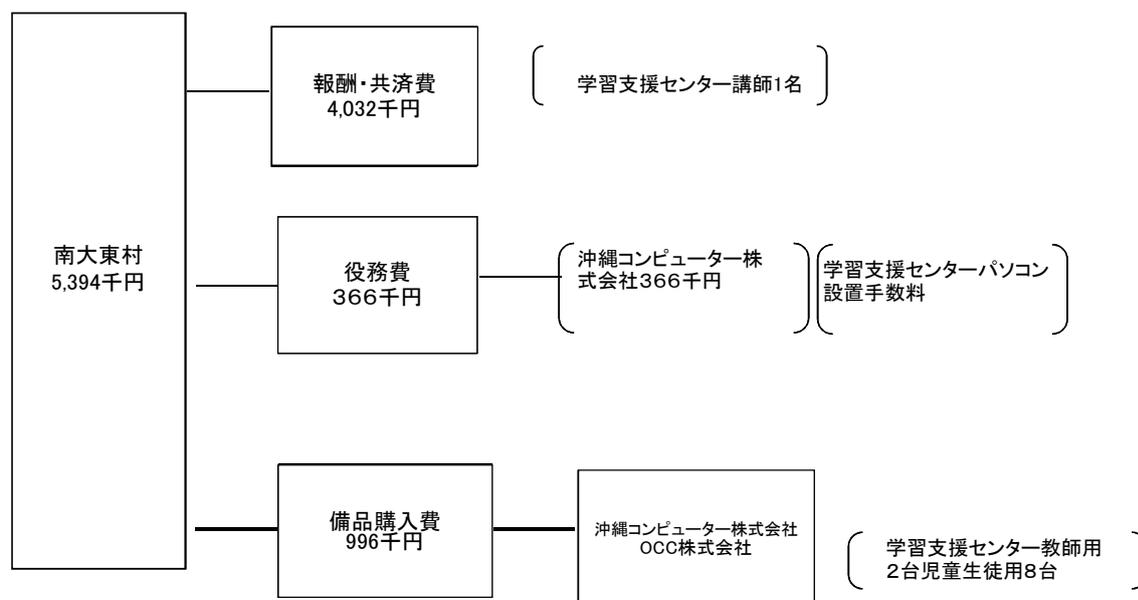
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	受講する児童生徒が多くなり(小学校38名、中学校25名)、指導の者の目が届かない人数になっていたため 講師を配置することで改善した。	パソコンの設置で、パソコンを利用した漢字検定、英検数研など、各自の能力に合った学習環境が整備されたが、メンテナンスの際島外から技術者を頼むしかないので、故障した場合の対処に時間と、費用の問題が発生する。講師の配置で指導者ひとりで全学年を指導していたが、小学1年から3年、小学4年から6年 中学校と細かな指導ができ、効果的な指導に繋がる。

今後の取り組み方針

次年度も村営学習支援センターに講師を2名配置、1名は村単独、1名は補助金で配置する。2名体制で学習支援を行うことで、低学年は自己学習の習慣化と基礎学力向上、高学年は学習習慣の定着と問題解決能力の獲得、中学生になると、自己学習能力の向上と問題解決、高校進学に向けての学習、又情報化社会に対応できる人材育成として社会情勢をインターネットを活用していける人材育成に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,394	5,394	4,315	1,079	0



資金の流 れの点 検・費 目・評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、指導に必要な能力を面接等で確認しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学習支援センター指導講師報酬の予算規模は、職員同等の採用として適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-①	南大東村安らぎ空間整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決	
事業内容	墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、墓地内進入路と駐車場を整備する。また、区画整理を実施する墓地の霊園化に向けた基礎づくりとする。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	(a) 当初予算額	7,308	36,745	10,038		
	(b) 予算現額	7,308	36,015	9,558		
	(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 730	▲ 480		
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	7,308	36,015	9,558		
	B. 執行済額	7,308	36,015	9,558		
	うち交付金充当額	5,846	28,812	7,646		
	次年度繰越額					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%	100%		
予算の状況の説明	当初予算額 10,038 千円のうち、委託費 966 千円遺骨回収を予定していましたが、申請している官報との兼ねもあり、委託費966千円を工事費に充当して予算執行を行った。また、今年度実施できなかった遺骨回収委託費については、翌年度、新規で予算処置を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	墓地区画全体面積810㎡墓地区画(9.1坪タイプ)300㎡墓地区画(4.5坪タイプ)300㎡墓地区画(1.8坪タイプ)180㎡合葬墓地(9.1坪タイプ)30㎡進入車路503㎡トイレ・広場91㎡墓通路430m緑園広場の整備782㎡	目標 (測量調査実施設計)	(測量調査実施設計)	(舗装・路盤工(駐車場:3カ所・車路:1カ所)・排水工114m・擁壁工4箇所(93m)の整備)	(墓地区画全体面積810㎡)	()
実績	測量調査実施設計	舗装・路盤工(駐車場:3カ所・車路:1カ所)・排水工114m・擁壁工4箇所(93m)の整備	トイレ・広場91㎡			
達成状況説明	南大東村霊園墓地区画全体面積810㎡のうち、衛生設備施設、排水整備、階段工(トイレ・広場91㎡)の一部を整備したことで達成できた。また、平成26年活動目標に掲げた墓地区画の墓地区画(9.1坪タイプ)300.0㎡墓地区画(4.5坪タイプ)300.0㎡墓地区画(1.8坪タイプ)180.0㎡墓地区画(9.1坪タイプ)30.0㎡進入車路一部、墓通路430.0m緑園広場の整備782.0㎡に関して達成することができなかった。なお、南大東村事業全体との調整もあり、当初予算額に事業費が盛込まれなかったことで達成することができなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	墓地区画全体面積810㎡墓地区画(9.1坪タイプ)300.0㎡墓地区画(4.5坪タイプ)300.0㎡墓地区画(1.8坪タイプ)180.0㎡墓地区画(9.1坪タイプ)30.0㎡進入車路503.0㎡トイレ・広場91.0㎡墓通路430.0m緑園広場の整備782.0㎡	目標 ()	(測量調査実施設計)	(舗装・路盤工(駐車場:3カ所・車路:1カ所)・排水工114m・擁壁工4箇所(93m)の整備)	(墓地区画全体面積810㎡)	()
	実績		測量調査実施設計	舗装・路盤工(駐車場:3カ所・車路:1カ所)・排水工114m・擁壁工4箇所(93m)の整備	トイレ・広場91㎡	
進捗状況説明	平成26年度は、南大東村霊園墓地区画全体面積810㎡のうち、衛生設備施設、排水整備(トイレ・広場91㎡)の整備ができた。追加工事として、階段工の整備をした。また、平成26年成果目標に掲げた墓地区画の墓地区画(9.1坪タイプ)300.0㎡墓地区画(4.5坪タイプ)300.0㎡墓地区画(1.8坪タイプ)180.0㎡墓地区画(9.1坪タイプ)30.0㎡進入車路一部、墓通路430.0m緑園広場の整備782.0㎡に関しては整備することができなかった。なお、南大東村事業全体との調整もあり、当初予算額に事業費が盛込まれなかったことで年度内で達成することができなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①衛生設備の整備については、これまで設置されておらず、訪れた参拝者の方は隣接してある公園若しくは、帰宅して用を足すことが余儀なくされていたため、平成26年度に衛生施設等の整備を施した。	①南大東村霊園墓地周辺の自然環境及び衛生設備の定期的な清掃等を行う事で緑地との調和を図りながら保安林の環境保全、施設の維持に努める。
	②裸地が多く、赤土流出防止対策については、事前に対策を施したが度重なる大雨で一部が車道や駐車場、既存墓等に流れ込んだため、工事面での課題が出た。対応済み	②赤土流出防止対策にあたっては、今後の工事等を踏まえ、平成27年度に区画整備全域に植栽(芝生等)を施すことで赤土流出防止対策に取り組むことで改善の余地を図る。

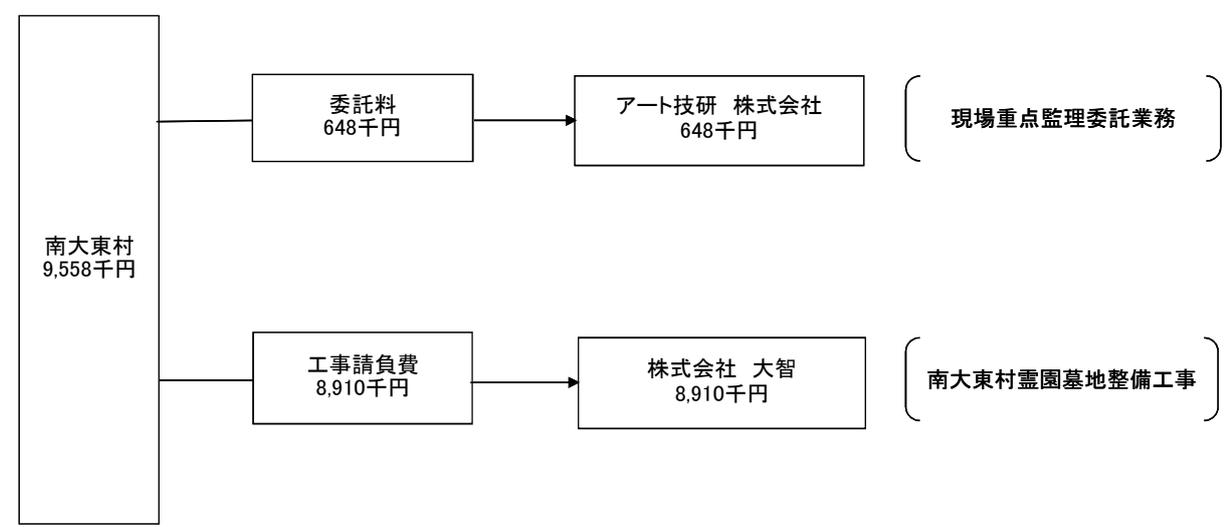
今後の取り組み方針

今回区画整備した箇所並びに今後工事予定区域については、平成27年6月を目途に植栽を施し整備することで赤土流出防止対策に努める。

平成26年6月4日付け、官報(無縁墳墓等改葬広告)の掲載から今年で1年経過するにあたり、南大東村霊園墓地整備事業(委託業務)で平成27年度に遺骨収集及び無縁墳墓の改葬を実施する。また、同事業で区画整備する合葬墓の実施工事を期限内に完了することに取組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,558	9,558	7,646	1,912	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定は、指名競争入札委員会でも適正に審査しておりであったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○予算規模、費目、用途については事業目的に沿った内容であり積算精査、竣工、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	